



北風が吹く、冬らしい気候になってきました。クリスマスには、こども園にもサンタさんがやってきて、子ども達は楽しいクリスマスのひとときを過ごしました。もうすぐそこには、新しい年がやってきますね。

1月は、雪や氷等、季節ならではの体験を取り入れ、感じたり、試して遊んだりして楽しみたいと思います。また、コマやかかるた等の伝承遊びも楽しみながら、友達との関わりを深めていきたいと思っています。

1月の教育・保育目標

- ・冬の自然に興味をもち、見たり触れたりして楽しむ。
- ・友達と一緒に正月遊びや伝承遊びを楽しむ。
- ・描いたり作ったりすることを楽しみ、表現する喜びを感じる。
- ・異年齢の友達とふれあう喜びを感じる。



☆家庭教育12か条☆

1月は
「本は心の栄養」
～子どもの世界を広げる～



研究の取り組み紹介

「自分なりの言葉で思いを伝え合うことを喜び子を目指して」

～豊かな言葉や心動かす体験を通して～

4歳児のめざすこども像

自分の感じたことや思いを言葉で伝えたり、保育教諭や友達の話に興味や関心を持って聞いたりする子

★好きな遊びで繰り返し遊び、友達とつながる経験を通して言葉を育てる

ぼくの背より高くしたい



私もやってみたい！

「一緒にしよう」と友達と誘い合ってカプラで遊ぶことを楽しんでいる子ども達。友達と一緒にする中で、「トンネルつくる」と自分の考えを伝えたり、友達がしていることに刺激を受け「〇〇くんみたいにしたい」と伝えながら遊ぶことを楽しんでいます。

保育者は友達とつながるきっかけをみつけ「〇〇って言ってみたら？」と伝え方を知らせたり、「〇〇ちゃんに聞いてみたら？」と、友達との橋渡しをしながら、言葉で伝える力を育てています。

〇〇ちゃんと一緒に作ろう



どうやって作ったのかな？



振り返りタイムではICTを使って友達のしていた遊びを共有しています。自分の遊びに集中していた子ども友達のしていた遊びの様子がわかり、興味をもって話を聞いたり、友達に質問したりする姿が出てきました。

★絵本や物語の世界に浸る体験を通して言葉を育てる

4歳児は、想像力が豊かになり、だんだんと友達とイメージの共有ができるようになってくる年齢です。大好きなお話の世界を表現遊びに取り入れることで、絵本に出てくる豊かな言葉や感性に触れたり、いろいろな役を経験しながら、登場人物の気持ちを考えたり、言葉で伝える経験を積み重ねていけるようにしています。

はさみがふわ～ってなるとよ



ぼくの名前はスイミー！泳ぐのが誰より早いんだ



1月 行事予定 (月曜はじまり)



()内の数字は学年を記載しています

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
			年末年始休業日			
5	6	7 おにぎり	8 絵本	9	10	11
3学期始業式 身体測定			お話タイム(5)			
12	13	14 おにぎり	15 絵本	16 布団	17	18
成人の日	個人懇談 (~23)			歯磨き指導(3)		
19	20	21 おにぎり	22 絵本	23	24	25
個人懇談		歯磨き指導(4)	避難訓練	歯磨き指導(5)		
26	27	28 おにぎり	29 絵本	30 布団	31	
		誕生会	新入児健診	ピカピカデー		

水曜日 おにぎりの日

木曜日 絵本貸出し

金曜日 帽子持ち帰り/布団持ち帰り(隔週)

今後の予定

3/6(金) 参観日・PTA 総会

3/23(月)卒園式 3/24(火)修了式

お願い

○雪遊びについて

雪の日は雪遊びができるジャンパー、長靴、手袋を準備して下さい。持ち物には記名をしましょう。

※自分で着脱できるもの確認して、持参してください。



5本指手袋の着脱が難しい場合は
← 左図タイプの手袋のほうが
着脱しやすいです

○歯みがき指導の参加について(幼稚部)

行事予定に実施日を掲載しています。ご都合がつく保護者の方は、参加可能です。子ども達と一緒に、虫歯予防の話や磨き方のお話を聞きましょう。

雪の日の安全対策について

○降雪の時期になりました。

安全な登降園になるように気をつけていきましょう。

◆駐車場

雪が降ると駐車場が混み合うことが予想されます。また、路面が凍って滑りやすくなりますので、お子さんと手をつないで安全に登園してください。

◆屋根の下

大屋根からの雪のゆきずりがあります。雪が落ちる場所には、カラーコーンを置いています。コーンや屋根の近くには近づかないようにしましょう。

◆門扉(フェンス)について

大雪の際は、門扉の開閉が困難になるため、開けたままにせざるを得ないことがあります。登降園の際は、お子さんから目を離さないようにしましょう。保育室までの送迎をお願いします。

ほっこりエピソード ~年長さんの仲裁~

3歳児がおもちゃのとりあいをしていました。「かして」「あとで」とお互いの主張を続け、今にもつかみかかる勢い。保育者がお互いの言い分を聞いていました。すると、そこへやってきた年長さんがみかねて2人の仲裁に入り「じゃんけんで順番に使ったら?」と提案。結局、先に使っていた子が勝ち、状況は前と変わっていないのですが、後に使うことになった子もなぜか「やったー」とうれしそう。憧れの年長さんに言われると納得するかわいい3歳児さんでした。…そして、後で使う番になった子に、自分のおもちゃを譲ってくれた年長児さんでした♡この行動の理由を聞いたら「お友達に優しくしようって先生が教えてくれたもん」と誇らしげに教えてくれましたよ。